

中国 安徽省碭山県の繁栄するナシ産業

人民日報オンライン 2023年10月13日

中国東部安徽省の碭山県は、「世界のナシの都」として浮上している。

最近のデータによると、2022年末の時点で、碭山県のナシ栽培面積は40万ムー(26,666ヘクタール)を超えている。このうち、25万ムーの土地では「酥梨」と呼ばれるナシが栽培され、6万本以上のナシの樹が樹齢100年以上を迎えている。(15ムー=1ヘクタール)

碭山県は、平坦な地形、柔らかい土壌、明確な季節、降雨と暑さの同時性、豊富な日差しに加えて、すべての主要な基準を満たす環境により、酥梨の栽培に最適な条件を提供している。同県の党書記である唐明氏は、「碭山は高品質な酥梨の生産で有名である。ここで育ったナシは、形が美しく、さっぱりとしてサクサクした食感と口の中でとろけるような味わいがあり、糖度が高い」と述べた。

1950年代後半、碭山県は砂防プロジェクトに着手した。砂質の土壌にナシを植えることの利点を認識し、県はかつての黄河の跡に沿って園芸農場と果樹園を開発した。その結果、酥梨の栽培はうまく行き、碭山県全体に拡大した。1960年代から1970年代にかけて、碭山県での酥梨の栽培は大幅な成長を遂げ、生態学的利益と経済的利益のバランスをとる能力を示した。この間に、ナシの栽培面積は50万ムーの大台に達した。

碭山県良梨郷良梨鎮出身のウェイ・ズンペン氏は、40年以上にわたってナシの栽培に取り組んできた。同氏の土地の20ムーでナシを栽培し、一家は主な収入源としてナシに依存しており、ナシの収穫から年間10万元(1万3,709ドル)の収入を得ている。(1元=約20円)

良梨郷は、碭山酥梨の発祥の地として認識されている。現在、良梨鎮の土地の90%がこの品種のナシの栽培に取り組んでいる。

今日、碭山県は100万ムー近い連続した果樹園を誇り、年間91万トンの酥梨を生産している。碭山県の酥梨のブランド価値は190億元で、関連業界全体の総生産額は110億元に達する。同県は、生産、貯蔵、缶詰加工、コールドチェーン物流、販売及びサービスをカバーする包括的な果樹産業チェーンを発展させた。

4億3,200万元の多額の投資が、碭山県に酥梨の産業クラスターを設立するために投入された。この取り組みには、1万7,183平方メートルの床面積を持つ標準化された工場の建設、5,300平方メートルに及ぶ既存の工場の改修、10の新しい出荷ラインの設置、3つの既存の出荷ラインの改良、及び14万7,500立方メートルの容積を持つ果実冷蔵貯蔵施設の設置が含まれる。

碭山県は、2,316ムーの面積をカバーし、118万立方メートルの貯蔵能力を持つ国営低温物流拠点を設置した。この施設は、コールドチェーン物流部門の成長に大きく貢献し、第一次、第二次及び第三次産業の統合を促進した。また、農村開発を推進し、農民の収入を増やす上で極めて重要な役割を果たしてきた。

これらの努力の結果、碭山県は全国でも屈指の果実加工地帯として台頭してきた。2022年には、同県は特にナシのペーストの製造等により、6億3千万円もの生産額を達成した。

碭山県は、3,100を超える電子商取引企業と6万を超えるオンラインストア及びマイクロビジネスを誇り、電子商取引の物流及び関連セクターで15万人以上を雇用している。

同県は毎年、45万トン以上の果実と野菜の缶詰、果汁及び飲料を製造している。これらの商品は、日本、米国、カナダ、欧州連合などに向けて輸出され、年間売上高は30億元を超えている。

碭山県は濃縮ナシ果汁とナシ果肉の主要な輸出元であり、ネスレやペプシコなどの多国籍食品企業に供給している。これらの製品は世界市場で約20%のシェアを占め、同県の年間輸出額は5千万ドルに達する。

ウェブ編集: ホンギョ、ドウ・ミンミン